

令和8年度 学校経営計画書

校訓 『元気 笑顔 夢の実現』

1 目指す学校像

(1) 学校教育目標 『いきいき学び 地域と共に よりよく生きる人を育てる』

いきいき学ぶ =心身ともに健康で、楽しく主体的に学ぶこと

地域と共に =学校生活（学習面・生活面）が充実し、人・もの・ことに関わること

よりよく生きる人=日々の学びを積み重ね、卒業後に自立した豊かな生活を送れるようにすること

(2) 目標具現化の柱

ア【専門性】主体的・対話的で深い学びの積み重ねをととして児童生徒一人一人の確かな成長・発達を支える学校

イ【安全・安心】人権・個性を尊重し、安全・安心な教育環境、学校体制を実現する学校

ウ【連携】家庭や地域、関係機関等から信頼され共に歩み協働する学校

エ【チーム】教職員が学校づくりに積極的に参画するとともに、業務の精選とワーク・ライフ・バランスを実現しチームとして働きがいが持てる学校

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア 専門性	(ア)児童生徒の主体的な姿を目指し、生きる力を育む授業の充実	・児童生徒の主体的な姿と育成したい資質・能力を明確にした個別の指導計画の作成、授業実践を行う。	・児童生徒の思考や気持ちに沿った授業づくりと授業改善を行い、主体的に活動する姿を引き出している。 ・教師のねらい（育成したい資質・能力）と児童生徒の解決したい課題や問いを明確にした授業づくりをしている。	自立活動課 研修課 教務情報課 各学部
	(イ)12年間の系統性を踏まえた指導と年間指導計画の改善	・対話と深い学びのためのICTの効果的な活用と指導方法を実践・共有する。 ・12年間の系統性と教科横断的な視点をおさえた年間指導計画の評価と改善を行う。 ・TT間の話し合いや授業アドバイザー、外部助言者からの助言を活かしたPDCAサイクルを用いた日々の授業改善を行う。	・日々の学校生活の中で児童生徒が目標に取り組む学習の機会を考え、実践している。 ・授業実践後に振り返りを行い、児童生徒の目指す姿を共有している。 ・ICTの使用目的を明確にしながら児童生徒の実態に合わせた効果的なICT活用について考え、実践している。 ・ICT研修で学んだことを授業に取り入れている。	
イ 安全・安心	(ア)人権に配慮した言動や行動の徹底	・人権に関する全体研修を実施する。 ・月ごとの教職員人権目標の設定や振り返りシートを活用し、人権感覚の一層の向上を図る。	・常に人権に配慮した態度や言葉遣いで児童生徒や教職員と関わっている。 ・児童生徒の呼称の「さん」付けを徹底している。	生徒指導課 各学部
	(イ)命を守る体制の構築と緊急時対応の行動力強化	・ヒヤリハット発生時、迅速に情報を共有し、改善案を策定、実行する。 ・危機管理マニュアルの理解促進と各訓練後の見直しを実施し、実情に即したマニュアルへの改善を図る。 ・緊急時対応訓練を実施し、教職員一人一人が自分の動きを理解して対応できるようにする。 ・安全・安心な教室環境を整備する。	・ヒヤリハットの情報を自分事として受け止め、改善案を共有し再発防止に努めている。 ・日常の点検を徹底し、気になることは即時に報告・連絡・相談している。 ・マニュアルの自身の役割を理解し、有事の際の動きが分かって自分の取るべき行動をしている。 ・緊急時対応訓練において、訓練を自分事としてとらえ、自分の動きや役割が分かって行動している。 ・片付けや清掃、整理整頓に自ら気づき、取り組んでいる。 ・児童生徒が安心して学習できる環境を整えている。	

ウ 連 携	(ア)児童生徒の夢の実現に向けた関係機関等との協働強化	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の教育支援計画やキャリアパスポート等を活用し、切れ目のない支援が行えるようそれぞれの役割を明確にして、関係機関等と連携する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者、関係機関と情報や課題を共有し、児童生徒がよりよく生きるために連携して取り組んでいる。 ・学習会や情報提供、専門家からの助言等を通じて、関係機関と連携するために必要な知識を得ている。 	キャリア教育課 地域連携課 自立活動課 各学部
	(イ)地域資源(人・もの・こと)への深い理解とそれを活かした実践や発信	<ul style="list-style-type: none"> ・小学部からのキャリア教育を充実させ、夢の実現に向けた段階的な指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学部段階でのキャリア教育を意識し、家庭や地域で般化できる内容を考慮した授業実践を行っている。 ・児童生徒が自己選択できるよう、将来に向けて保護者と本人の願いを大切にしながら進路指導を行っている。 ・掛特版キャリアプランニングマトリックスを活用し、高等部卒業後を意識した進路指導を行っている。 	キャリア教育課 地域連携課 自立活動課 各学部
		<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源(人・もの・こと)を活用する「ふれあい活動」を年間指導計画に位置付けて実践し、成果と課題を明確にしながら内容の充実を図る。 ・インスタグラムを活用し、地域への発信を積極的に行う。 ・地域の施設での作品展や作業製品展示・販売会を開催したり、地域に積極的に出掛け地域の方と触れ合う機会を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学部ごとの目的を明確にして、方法や内容の充実を図り、実施している。 ・地域の施設や外部人材を積極的に活用し、学びの充実を図っている。 ・移動図書館、読み聞かせ等を活用し、読書活動の推進を図っている。 ・学部の取組を知ってもらえるよう、タイムリーな情報発信や発信の仕方の工夫をしている。 ・地域での作品展や販売会、学校間交流の内容を充実させ、地域と触れ合う機会を増やしている。 ・販売会、交流において計画的な事前打ち合わせや実施をしている。 	地域連携課 図書表現課 各学部 管理職
エ チ ーム	(ア)働きがいのある職場の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会や面談を活用し、教職員一人一人が学校の課題を自分事としてとらえ、改善に向けた意見を出し合える環境を作る。 ・全体で行う会議を精選し、教材研究や授業の話し合いの時間を確保する。 ・ワーク・ライフ・バランスを意識した勤務の在り方や業務改善を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営に参画する意識をもち、学校の課題解決に向けて自身の貢献できることを考え、意見を出している。 ・意見を出し合える雰囲気を意識し、相手の立場に立った伝え方、受け止め方を心掛けている。 ・チームとして協働しながら授業や行事、日々の指導を行っている。 ・会議の時間管理を徹底し、学年全体の教材研究や話し合いを勤務時間内に行っている。 ・授業に入る教員の適正人数を考慮して指導体制を常に見直し、週1回以上の事務処理時間を確保している。 ・計画的に業務に取り組み、時間外勤務が45H/月以上を超えないようにしている。 	各学部 管理職 企画会 学校職員衛生委員会